

No. 1156

建築物防災診断

春は火事の多い季節、このところ火事による被害がふえています。建設省と地方行政機関は3月7日から始まった建築防災週間にちなんで、各地の高層ビルや雑居ビル等の防災診断を行ないました。これは火災等により建築物の被害はもとより、少なからぬ人命を失っている実状に照らし建築物の防災への設備が十分に整っているかをチェックするもの。このデパートはまだ建てられて2年目というだけあって近代的な設備もほぼ完備、査察官も一応大丈夫との事。一たび火災が発生すると大事故につながるのがホテル。ここでは実戦さながらの防災訓練が行なわれています。果して本当の火災で訓練のようにうまくいくでしょうか。それよりも、まづ火災を起こさぬ事国民一人一人が気をつけたいものです。

一日尼僧

— 愛知・岡崎 —

狭い境内に女性の読経が流れる。純白の烏帽子、紫紺の法衣、手に数珠、人よんで一日尼僧。
愛知県、岡崎市にある世尊寺、「日本でただ一ヶ所の女厄除け霊場」として今世の女性たちの人気を集めている。「娘19のかぞへ年、髪を切り、厄を斬る」とは昔の習い、1200円で一日尼さんになれたちどこに厄が退散し、幸運が舞い込むとあっては人気もそのはづ。
年齢の数だけ髪のを切る。女心に何を思うのか、真妙な顔つき、中には涙を流す人もいるという。
観音経をとなえながら、切った髪を宝塔に納める一步一步尼僧に近づく。
清浄がゆを食して一時間のフルコースは終了。尼僧姿も“オツ”なもの、記念写真で一日尼僧は終わった。